

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

株式会社 ENEOS マテリアル 殿

令和7年10月31日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトの出口として、バイオものづくりプロセスによるバイオエタノール・ブタジエンを原料としたタイヤ原料を商用生産することを、自社の中期計画あるいはそれに類する、同等な計画に位置付け、公表すること。
- ・ 様々なシナリオを置き、将来の市場規模を想定した上で、生産量・値段・コストを含んだ財務モデルを構築し、事業戦略ビジョン及び実施計画書に反映すること。また、状況の変化に応じ、これらの数値の変更を都度行い、事業化に向けたプロジェクトの進捗を評価すること。
- ・ 計画の見直し事由が単なる市場形成の遅れに留まらないことを示した上で、遅延要因の定量分析と再発防止策を検討し、事業戦略ビジョン及び実施計画書に反映すること。
- ・ 他社依存的な姿勢を脱し、川下企業と連携し、想定しているオフテイカー以外の社も含めた、自社主導の市場形成戦略を検討し、事業戦略ビジョン及び実施計画書に反映すること。
- ・ 上記の対応方針や新たな事業戦略ビジョン、事業継続の意思について、本ワーキンググループにおいて再度説明すること。
- ・ ETB プロセスはバイオペロセスではないが、競合他社が同様の取組を行っている中で、競合と比較して貴社の技術的な強みはどこにあるか明確にすること。

以上